

平成29年度公共下水道事業特別会計当初予算額

(単位:千円)

歳 入	予 算 額	歳 出	予 算 額
1 分担金及び負担金	6,460	1 公共下水道事業費	91,829
2 使用料及び手数料	87,452	2 公 債 費	90,005
3 国庫支出金	0	3 積 立 金	73
4 県 支 出 金	0	4 繰 出 金	475
5 財 産 収 入	73	5 予 備 費	618
6 繰 入 金	77,497		
7 繰 越 金	475		
8 諸 収 入	43		
9 町 債	11,000		
歳 入 合 計	183,000	歳 出 合 計	183,000

平成29年度坂祝町公共下水道事業特別会計 予算の概要

平成29年度坂祝町公共下水道事業特別会計における総額は、歳入歳出それぞれ183,000千円（前年比0.2%の増で400千円増）となります。

平成29年度の主な事業として、施設費においては、前年度に引き続き公営企業会計移行への委託を実施します。なお、平成29年度においては一部職員の人件費を維持管理費へ移行したこと。工事費及び木曾川右岸流域建設負担金の大幅な減額により施設費は減額となります。一方、維持管理費においては一部職員の人件費の移行による増額、新規事業であるマンホールポンプ等点検委託料の増額、使用水量増量による流域下水道維持管理負担金（汚水処理費）の増額、があり、前年度と比べて全体的に増額となっております。

予算執行の財源として歳入の主なものは、一般財源である【分担金及び負担金】6,460千円（受益者負担金）、【使用料及び手数料】87,452千円（使用料・滞納繰越等・督促手数料）、【繰越金】475千円（前年度の繰越金）、【諸収入】43千円（延滞金、預金利子、雑入（排水設備工事指定店手数料）と、特定財源として【財産収入】73千円（基金利子）、【繰入金】77,497千円（一般会計繰入金・減債基金繰入金）、【町債】11,000千円（建設負担金分・一般分・公営企業適用債）を見込みました。

これらを財源とする歳出予算として、主に施設費では【人件費】8,839千円（給料・職員手当・共済費）、【工事請負費】4,500千円（工事費：単独分L=100m）、【負担金補助及び交付金】5,159千円（各団体負担金・木曾川右岸流域下水道事業建設負担金）、【委託料】1,970千円（公営企業化移行業務委託）など、20,500千円（前年比22.9%減で6,103千円減）を計上しました。

維持管理費では、【人件費】4,523千円（給料・職員手当・共済費）、【需用費】3,835千円（消耗品・水熱光費・修繕費）、【役務費】1,016千円（郵便料・電話料・保険料）、【委託料】3,194千円（保守点検・水質検査・マンホールポンプ清掃・上水道各種委託料）、【工事請負費】4,250千円（公共柵新設取出工事・公共柵取付工事）、【負担金補助及び交付金】46,527千円（木曾川右岸流域下水道事業維持管理負担金）、【公課費】7,964千円（消費税）など71,329千円（前年比9.9%増で6,398千円増）を計上し、その他、公債費として【元金】67,999千円（償還元金）、【利子】22,006円（償還金利子）を併せ90,005千円（前年比0.06%減で55千円減）、積立金73千円、繰出金475千円（一般会計繰出金）、予備費618千円を見込みました。

以上が、平成29年度坂祝町公共下水道事業特別会計の概要です。